

宣言延長「これで最後に」

信州ゆかりの都内飲食店

1都3県の緊急事態宣言再
延長が決まった5日、営業時
間短縮要請などに応じてきた
長野県ゆかりの店からは、続
ほしい」。東京・新橋駅前ビ
ルにある居酒屋「正味亭尾
和」の店主、尾和正登さん
(52)「上田市出身」は強調し
た。きちんと抑え込めていな
いうちに人が出て、感染が再
拡大することが心配で、最後
の我慢と思っている。

【1面参照】

「もうこれで終わりにして
ほしい」。東京・新橋駅前ビ
ルにある居酒屋「正味亭尾
和」の店主、尾和正登さん
(52)「上田市出身」は強調し
た。きちんと抑え込めていな
いうちに人が出て、感染が再
拡大することが心配で、最後
の我慢と思っている。



「正味亭 尾和」に立つ尾和さん。8日から時短で夜の
営業を再開する。5日午後5時50分、東京都港区新橋

ルにある居酒屋「正味亭尾
和」の店主、尾和正登さん
(52)「上田市出身」は強調し
た。きちんと抑え込めていな
いうちに人が出て、感染が再
拡大することが心配で、最後
の我慢と思っている。

1月の宣言再発令から数日
間、夜は営業時間を短縮。そ
の後、ランチ営業だけに切り
替えた。従業員のシフトを組
んでいたこともあり、8日か
ら夜を時短営業で再開する。
「悲しいですよ。酒やつま
みを捨てるのは」。期限切れ
の生ビールや封を開けた日本
酒は、自ら飲んでいた。「一
時は飲食が悪者のような物言
いがされて腹が立った。今は、
根本対策が打ち出せていない
ことに怒っている」。感染封
じ込めの徹底、店の規模に応
じた支援への見直しなどを国
や都に求めた。

同じビル内で、県内の日本
酒などをそろえる「地酒ミ
ュージアム 信州おさけ村」の
店長、鈴木昭夫さん(59)は、
飲食店に卸す酒類の売り上げ
が通常の2〜3割ほど、「立
ち飲み」と直売コーナーも6
割ほどに落ち込んだという。
「通常営業の見通しが立たな
いのがつらい。時短営業では
お客さんも飲みに行こうとい
う気になりにくい」
首都圏から多くのスキー客
が訪れる下高井郡野沢温泉
村。桐屋旅館では、例年の訪
日客は「消滅」し、国内客の
動きも鈍く、1〜2月の客
足は前年より7割落ち込ん

だ。片桐アキラ社長は「宣言
解除を期待していたが、予約
も動かず厳しい状況が続ぎそ
う。書き入れ時だが、どうし
ようもない」と肩を落とした。